

▼ふるさと彦根応援寄附条例（平成20年9月制定）に基づき、自主財源の積極的な確保に向けた事業展開を図りました。

※平成20年度寄附金額 289万2千5百円



▲ふるさと彦根応援寄附のポスター

## 行政代経を営切のり推拓進く

### 成果重視の行政経営

#### 事務事業評価システムの見直し、施策評価制度の導入

▼客観性と透明性のいっそうの向上を図るため、公募委員や学識経験者からなる彦根市行政評価委員会において、全施策の外部評価を実施しました。

各施策に対する意見などがあつた評価結果を各事業に反映させるために、各部署で検討を行いました。

### 能力、成果重視の人事管理、人材育成

▼目標管理型人事考課制度の手法や、評価結果の活用方法などについて、調査・研究を行いました。また、公平、公正な制度の構築を図るため、評定者研修を実施しました。

▼新人人材育成基本方針に基づき、変革の時代に対応できる人材育成のため、職員の意識改革を図り、政策形成能力の向上などのスキルアップ研修を実施しました。

### 業務プロセスの改善

16万8千円減

▼消防本部にある緊急通信指令台に携帯電話、IP電話からの119番通報による位置情報が表示されるようになり、さらなる指令業務の効率化を図りました。



▲消防本部にある緊急通信指令台

### 行政体制の整備

#### 組織機構の見直し

▼議会改革特別委員会で議員定数を現行の28人から24人にすることを決定しました。平成20年12月定例会で委員会提出議案として上程し、可決されました。（次の一般選挙から適用）

#### 適正な定員管理の推進

1億7,020万2千円減

▼組織機構の見直しを行いました。定員適正化計画により、5年間で平成17年4月1日時点での全職員数（1,455人）の4・6%（67人）以上の職員削減に取り組みんでいます。（平成20年度は、16人削減）

### サービスの迅速化と向上

#### 窓口業務の迅速化などサービスの向上

▼旅館・ホテル・宿泊所などの事業に関する消防関係書類の申請窓口を、消防本部から消防署・各分署に変更し、利便性の向上を図りました。



### 活力あるまちづくり

#### 企業誘致の推進など、まちの活性化

▼日本を開国に導いた井伊直弼を再評価し、新たな直弼像を発信する、「井伊直弼と開国150年祭」を実施しています。

リレー講座・市内中学校での郷土の歴史学習や、全国からキャラクターに参加いただいた「ゆるキャラまつりin彦根」など19の主催事業と28の市民創造事業を行いました。



▲市民創造事業の「子ども珍道中」

### 協働による市政推進

#### 市民、NPOなどの自主活動の促進支援

▼彦根駅前花壇の管理を、国宝・彦根城築城400年祭を機に発足した「ひこねを盛り上げ隊」に引き継ぎ委託しました。  
苗・肥料の原材料を年2回支給することで、市民などの活動を支援しました。

#### まちづくり基本条例の制定など

118万7千円増

▼彦根市のまちづくりに関する理念と原則を明文化する（仮称）まちづくり基本条例」について、彦根市まちづくり基本条例検討委員会にて検討を行いました。（検討委員会7回、勉強会9回、市民フォーラム2回）

## 水道、下水道、病院事業の主な取組

水道事業、下水道事業、病院事業の各会計においても、それぞれの改革計画に基づいた取り組みを行いました。

### ●水道事業

収入 615万7千円増  
支出 6,798万1千円減

▼平成20年10月から民間企業の経営手法を生かした「お客様サービスセンター」を開設したことにより、土曜日・日曜日・祝日の受付・収納窓口業務を行い、サービスの向上に努めました。

▼浄水処理方式について、新技術に関する情報収集や調査・研究を行い、大敷浄水場緩速ろ過の処理能力向上を図るための調査・研究を行いました。

### ●下水道事業

10億7,665万円減

▼民間開発団地内のコミュニケーションプラント（大型集中合併浄化槽）から公共下水道への切替えを進め、下水道の普及率の向上を図りました。



### ●病院事業

収入 6,255万8千円増  
支出 2億1,123万1千円減

▼継続実施している委託業務の精査をするなど、経費の削減に努めました。

▼薬品や診療材料の適正在庫管理に努め、より安価な同等品を積極的に採用し、経費の削減に努めました。